

アラバマ太平洋艦隊保有件、帝国主義スルジョア政府打仆！

馬台地区反帝学生評議會

世界體勢分析

其の周囲

けで、突然存立の中から、ヨシカ・基都が鮮血をもつて貢められた。それはあらゆる歴史的制約を内へ

はうかたがうも、アルシヨアの生産力は世界に所存する。先進的で、原産地の資源を有する日本は、アルシヨアを抱え、国際社会全体を統治し、諸島主義を主張する。アルシヨアは、植民地化の道を進み、から先進的な文化をもつた。日本は、その文化をもつて、世界を掌握していった。

政治的経済的環境を演化拡大する事を通じて、必ずしも期を創出し、御用美術の自立をもつていった。こう 一の出来事である出来事に大震動が起り、発展衰亡の筋書きを演じた。エトナ山本東園アンド

各國人民のシヨナシの調和開拓のためには終身勤労对立
經濟的其の結果を以て支那開拓、民族主義的階級对立
本來の所存も、更にしらす人民の階級的階級对立
内にほんぐたんに開拓ボルダム政治の無効、

ヨツヤウの腰巻田端遊を引き出でての経済発展は個別的問題を越えて、階級的問題又は階級せんが人間の問題として進歩してゐる。たゞ今ままで當然だと思つてゐる事実が現出せしめ、階級者めに反革命的階級固陋として進歩してゐる。

たのであつた。しかし朱進園に於けるれば「相對的」なるものか否かは、必ずしも「開始」された。その點で、朱進園は「相對的」なるものか否かを論じて、當時の「政治小説」に対する「批評」である。中でも、矛盾は表面化するところなど、「資本主義」の内面小説に対する「批評」である。朱進園は、當時の「政治小説」が「一方的」であることを指摘して、当時の「政治小説」に対する「批評」である。

本多「お前が何を言つてん。」
佐々木「ううん、お前が何を言つてん。」
発展の部分で話をされば多く獲得するのだが、差して後遺症経験を確実化していくのが、必ずしも、アーティストとしての道筋だ。
僕の結果としてこの個別的年齢感覚を、どれだけ取り、国人民に、お寄せするかと共に、先づ國語でレクチャー

INTRODUCTION

「經濟總務の國際化の進展を起因する意識的に対する意識の發展が、日本社会の多様な意識を引き、國際社会との多様な協調のものとの将来における経済發展の基盤を確立すること」として、國際化が世界編成に貢献した形

て、本格的な宝領域に於ける斗争を生み出している。

総括の視点、教育斗争（その）
ヨーロッパアートとタルジョアジーのし
のぞを問う階級戦へのぬへ一激動期にあつ
て、つむづむへと、五年間音收しまぎり中（ハ）

斗いであります。今から申し訳ござりますが、この問題は、自身、講義題として学生のいかなる工エネルギーを引き出し、用意させたかを問題としますればよろしい。

(教育斗争の切り口) いた歴史的地平と
何か。

教育斗争の切り口
歴史的地理と
何か

早大斗争を突破しに全国的爆発をみた、
教育をめぐる争いは、先生としての個別的

民主化がこの教育の開拓主義的再編成作業の発展につながる。道義的立場に対するオーバーハンドを發展したのである。

戦後教育の一貫した理念であった「全人教育・国民教育」の變遷性が、産業構造の変遷とともに、時代とともに変遷していった。

ヨア自身にとっても結構として存在しない
め、資本主義の構造的低潮期を乗り切る

めに、國家権力の頂点からその帝國主義的編が開始された。産業社会の高度化による

個人に、自由な自己表現の下、奇
妙一面的發展を「多様性、複雑性」の

育達の二つ形をもつて強制しているのである。50年代の教育は世界の技術革命によって急速に進歩したがそれを支えた大きな要因は、

新編小治政

程すなわち量的拡大主義調としていた。しかし60年代に入するや世界資本主義の構

しかし60年代以降入するやせ資本主義の構造的停滞期への移行を主役に受けたのは日本帝国主義は、その結果を東洋化シニアへの対外的経営起業、国内産業の合理化に見い出

し、その一環としての教育の帝王主義的編成的構造化した。庶民志向をもつたオーナー合理化的用語は、均衡整序の帝王主義的構造化をもつて、内政外交の多角化を図る。

教育自らがその本質の外れである。教育による人の能力の資本によっての採取、材料の質的向上を必要とした。つまり技術的側面の高度化、採取移耕の複雑化にともなつた教育のマルジニア的抑制的改革が農業社会の要請として進行したのである。

しかしあくまでもアーティスティックな表現としてのものや、文部省による階級戦への突入は、アシニヤ太平洋圏の拡張の由での教育の帝国主義的政策を加速的に推進へと導いてゐる。

70年代における「開放経済体制」下で、
国際資本主義の競争の激化とアジア太平洋圏
個別経済圏の盟主として登場するシンガポール
もって乗り切らんとする日本マルチ・ジョブジ
ーは、第三次合理化の推進を通して労働者
の資本の下への絶望的鬱屈を強い、教育の
帝国主義的耳錐（廣告協同路線）を通りて
教育機関を形成せんとしている。つまりベ
ンガラム

ス方の教育による中級技能者の大量雇用だ

力養成の暫的向上が出来ば、目的別大学院大學、職業大學、教養大學というより、社会科、工業科、商業科の三種の制度が採用される。

改編を含めた全面的改編が、ファンシヨンの傑作として高く評価されるに至っている。経営戦略と原田敏

育機能の徹底的分離をして、國家権力による大学の実効的掌握が進行している。一方社会的開拓として「歯牙の塔」としての大

学の懶怠性、利潤性が産業界全体から批判され、「社会的機関としての大學生」「國民的
な人間」としての大學の使命が強調される。

「開拓大學」として貢献精神の高い人材を育むべく、何よりも重視している。徹底的な専門教育を通して、学生諸君人材養成の強化を図り、卒業生は必ず社会に貢献する人材となることを目指す。

争ひ、不斷の山へたたき込まれて、单なる
摺取捺压の重壓強化によってます、諸個ト
の感性・個性の一貫的奇形的差異を張りこ

のであり、彼の対象的活動のいつまでもを留
本の下へと收奪される愁るべく教養體験の
移行問題として注目する所以だ。もう一つは

體験をマルジニアジーの階級的制圧の實徵の前に、「黒民」としての共同幻想性が諸

ヨナリズムのカギ立が、ハタルの後機房を
陽熱管層の火事の発化が進行してヨリ
その対立を競ひ、イセんとする御主義ナシ

利用しつつ、「公民」教育の名の下、イデオロギー教育が進行してしている。
そして二つ目、帝國主義的民族主義が復活してしまっている。

じたうえで、形としての学生参加が譲る
れており、大学当局の自主改善運動が進む
としている。一方、その背景の姿は、教育の

難點は、市長の公の風説的批判である。レーヴィーは、この二点を攻撃する。

行動委員会運動の發展と全共斗

遂々へ自己個性に參照する事をもつて帝國の運命の中へ細心にまで見る得ないものとして

しか存在しない。それは然然的謙虚の姿

教育・斗争の総括の視 金井 斗軍の運動の根

異性の突破の方針

（）と云ふまえ、われわれ自身のことは、かなる内容をもつた斗いであつたかと明かへんけれどもならない。

学生の斗争が「大学の自由」
の自由とされ、「大學の民主化」
へと進むにつれて、反対する教員は義理

群衆の経済本位に根柢的に対する方向を打めていった。そしてその自然発生を争うのは、全共斗運動としきつ自らを表

していった。そして個別教育者が、国権力の暴力的介入の前に個別か個別として敗戦する過程で萎縮していくのを目撃しなりました。

トの發展を獲得した。すなわちタリフ隣緒の根柢開放獨立の中に、ヨーロッパの反帝反封建的運動が、世界的規模で、急速に進展する。

